

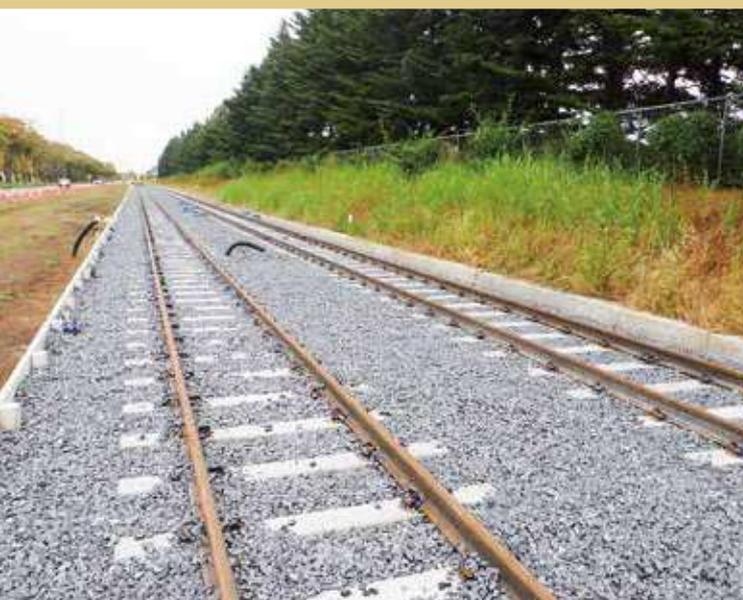
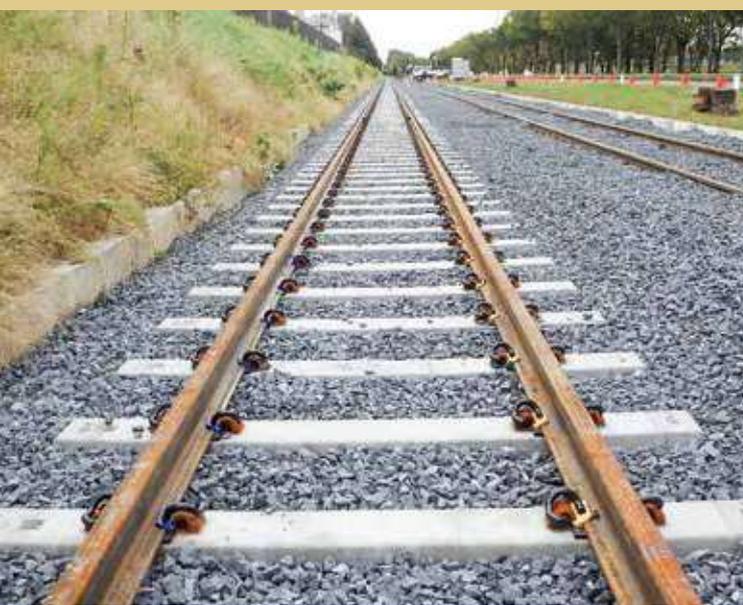
つ 世 宮 け ん 都 宇 字 都 宇

CONSTRUCTION

vol. 319

2020

【題字】 宇都宮市長 佐藤栄一 様



『LRT線路』 東武 渡辺 宇都宮土建 建設共同企業体 写真提供



優良建設工事表彰

令和2年度の栃木県優良建設工事ならびに宇都宮市優良建設工事表彰の受賞に伴い、当該工事を担当した現場代理人および主任（監理）技術者に対して、去る令和2年10月19日、建設産業会館においてその功績と栄誉を称えた表彰式が行われた。（一社）宇都宮建設業協会からの表彰対象となった優良工事は以下のとおり。なお、表彰式には会員約65名の参加のほか、柴誠栃木県県土整備部参事兼宇都宮



土木事務所長、塚田浩宇都宮市上下水道事業管理者をはじめとして、栃木県および宇都宮市から多数の来賓が出席した。

表彰式の終了後、栃木県ならびに宇都宮市の建設工事研修会が開催され、さらなる優良な工事の施工のために会員各社は熱心に聴講していた。

◆栃木県知事表彰 9社

- 岩原産業株式会社
道路改良工事 121号その5（快安道補）
- 株式会社菊地組
道路改良工事宇都宮向田線その1（県庁正門前）
- 野中建設株式会社
舗装工事 119号その2（快安道補）
- 山本建設株式会社
舗装工事雀宮駅前線その1（補助街路）
- 株式会社暁工務店
総合スポーツゾーン硬式野球場メインスタンド改修ほか工事
- 藤井産業株式会社
総合スポーツゾーン新スタジアム新築空調設備工事
- 渡辺建設株式会社
栃木県総合文化センター大規模改修工事
- 株式会社増淵組
栃木県総合文化センター大規模改修工事
- 株式会社興建
栃木県総合文化センター大規模改修工事

◆栃木県知事奨励賞 1社

- 栃舗建設工業株式会社
道路改良工事宇都宮向田線その2（県庁正門前）

◆所長等表彰 10社

- 宇都宮土建工業株式会社
舗装工事 408号宇都宮高根沢 BP その13（快安道補）
- 株式会社カクタ技建
堤防工事田川下反町その2（安全川補）
- 晋豊建設株式会社
道路改良工事 121号その5（快安道補）
- 株式会社千葉建設
道路改良工事 119号その4（快安道補）

受賞された方々のあいさつ

道路改良工事121号 その5（快安道補）

岩原産業株式会社 小谷野智行

本工事は、宇都宮環状道路（宮環）の南部区間を構成している国道119号の西川田本町交差点からさつきロード入口までの道路拡幅を伴う道路改良工事でした。本現場は朝夕の交通量が多く、現場の交差点を先頭に東西南北に著しい渋滞が発生しており、車線数の増加と右折レーンの滞留長を延長することで、渋滞の緩和を図る工事です。近隣には飲食店、カーディーラー等が密集しており、各々との出入りを伴う工程調整が最重要課題であり、最短で工事を完了することが急務でした。工期内はいろいろなイレギュラーが多々ありましたが、無事に工事を完了できたことは、ひとえにご協力いただいた地域の皆様、ご指導いただいた監督職員の皆様、工事に携わっていただいた協力業者の皆様方の英知の賜物だと思っており、この場を借りて心より御礼申し上げます。

建設業は現在、変革の時期に入っており、老朽化したインフラの整備、技能者・労働者の減少が問題になっております。そのような点からICTの活用・週休二日制の導入の推進など建設現場の状況も日々刻々と変化しております。

今回の受賞を機に更に自分と真摯に向き合い、自分が培った技術を惜しむことなく共有し、今後の担い手である若手の育成に努めたいと考えております。今後とも受賞に恥じぬよう、現場従事者と共に現場に潜むリスクを一つでも多く摘み取り、技術・安全意識の向上に努め日々努力していきたいと思っております。



総合スポーツゾーン硬式野球場メインスタンド改修ほか工事 暁・万・神谷特定建設工事共同企業体 生井 悟

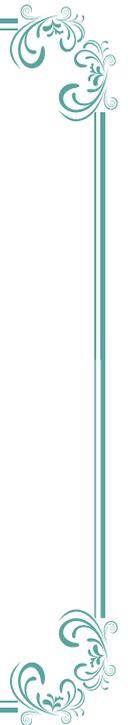


この度、栃木県優良建設工事の表彰をいただけたことを大変光栄に思っております。本工事は総合スポーツゾーン園内全体が同時期に発注されており、園内の工事業者が密となり各自別々の工事管理を行えば進捗の遅れや事故の危険性が高まることが予測されるため、工程表、仮設計画を統一しました。また、合同会議を毎日開催することで進捗の管理を行い、工事を無事故無災害で完了することができました。

特に工事に際して配慮した点は周辺住民及び公園利用者の安全確保です。工事車両との接触事故が予測されたため、対応策として工事作業車と一般利用車の進入路を区分し、作業員には毎朝の朝礼時に繰り返し注意喚起を行って事故防止を図りました。

また、夜間にウォーキングやジョギングを行う公園利用者が多く見受けられ、メインスタンド周辺は暗いため、つまずきや転倒の危険性が予測されました。対策としてプラスチックフェンス上部にソーラーキングを設置し、フェンスの基礎部分にはガーデンライトを2m間隔で設置しました。夜間でも歩行者通路が暗くならないよう管理を行い、安全に工事を進めました。

今回の工事経験を活かし、再度このような表彰がいただけるよう努力していきたいと思っております。



- 株式会社長嶋組
調整池整備工事 栃木県ライフル射撃場その1
- 株式会社庭野建設
道路改良工事 宇都宮向田線その2 (快安道補)
- 株式会社丸あ組
舗装工事 121号その2 (快安道補)
- 中村土建株式会社
栃木県立博物館収蔵庫新築工事
- 岩村建設株式会社
栃木県立博物館収蔵庫新築工事
- 芳賀屋建設株式会社
栃木県立博物館収蔵庫新築工事
- ◆ 宇都宮市優良建設工事表彰 25社
 - アズマ原総業株式会社
準用河川越戸川バイパス築造工事 (分割2号)
 - 渡辺建設株式会社
準用河川越戸川バイパス築造工事 (分割2号)
 - 宇都宮土工業株式会社
公共下水道老朽管きよ改築工事 第2工区
 - 株式会社入江組
松田新田浄水場導水管耐震化整備工事 第4号
 - 渡辺建設株式会社
松田新田浄水場導水管耐震化整備工事 第1号
 - 宇都宮土工業株式会社
松田新田浄水場導水管耐震化整備工事 第1号
 - 宇都宮土工業株式会社
公共下水道管きよ耐震化工事 第1工区
 - 渡辺建設株式会社
配水管更新工事 第3号
 - 渡辺建設株式会社
松田新田浄水場導水管耐震化整備工事 第5号
- 中村土建株式会社
準用河川越戸川バイパス築造工事 (分割3号)
- 大幹建設株式会社
(仮称) 下竹下第3架道橋工事
- 宇都宮土工業株式会社
道路修繕工事 (排水整備)
- 日豊工業株式会社
(仮称) 下竹下第2高架橋工事 (分割1号)
- 小平興業株式会社
(仮称) 竹下第2高架橋工事 (分割1号)
- 株式会社増淵組
(仮称) 野高谷第1架道橋工事 (分割1号)
- 山本建設株式会社
(仮称) 竹下第1高架橋工事 (分割1号)
- 株式会社長嶋組
(仮称) 竹下第4架道橋工事
- 岩原産業株式会社
(仮称) 竹下第2高架橋工事 (分割2号)
- 岩村建設株式会社
御幸小学校屋内運動場その他改築工事
- 日豊工業株式会社
御幸小学校屋内運動場その他改築工事
- 晋豊建設株式会社
御幸小学校屋内運動場その他改築工事
- 株式会社入江組
区画道路舗装工事 (分割6号)
- 山本建設株式会社
道路修繕工事 (舗装修繕)
- 渡辺建設株式会社
宮原運動公園暫定野球場施設整備工事
- 宇都宮土工業株式会社
JR宇都宮駅東口第2自転車駐車場舗装版等撤去工事

(仮称) 竹下第2高架橋工事 (分割1号)

小平興業株式会社 池田卓史



本工事は宇都宮市竹下町で延長59.9m、幅10.4mの区間で行ったLRT事業に伴う工事です。主な工種は中層混合処理工、ジオテキスタイル補強土壁工、重力式擁壁工、橋梁下部工等でした。

工事のポイントとして特記仕様書に記載されているとおり工期内完成が必須の現場でした。そのため、同じヤード内で施工する近接工事の下部工、擁壁工、上部工それぞれの業者と密に打合せを行い調整しながら作業を進めました。

中層混合処理工においては、橋梁下部工のフーチング完成後のピンポイントのタイミングで施工する必要があり、本来は改良深10mの機械で改良したかったのですが、いろいろな工法を探しても施工時期の合う機械の空きがなかったため、多少工程は伸びますがパワーブレンダー工法の改良深8mの機械で2段階施工で改良を行い、何とか対応しました。

また、コンクリートの打回数、量共に多い現場でしたので、約1か月前には生コン、ポンプ車の手配を行い、材料待ちによる工程ロスをなくすよう心掛けました。

以上のようなことに注意し、協力業者と工程の調整を行いながら作業を進めました。結果としてスムーズに進み、無事故で現場を完了させることができました。

工事を施工するに当たりご指導いただきました監督職員の皆様、工事に携わっていただいた協力業者の皆様により感謝申し上げます。

御幸小学校屋内運動場その他改築工事

岩村 日豊 晋豊建設共同企業体 吉田雅則

この度、宇都宮市優良建設工事の表彰をいただいたことを大変光栄に思っております。本工事は、市街地内にある小学校の屋内運動場及びプール施設等を改築する工事でした。

工事を施工するに当たり特に重要視しなければならなかった点として、敷地周囲に住宅及び飲食店が近接し、前面道路の幅員が狭小であることによる作業の制限が挙げられます。また、既存校舎も運営しているすぐ横での作業で、作業範囲も限られていました。そのため、一度に全ての施設の施工を行うことは不可能であり、付属施設等の工程管理及び作業範囲内での安全管理はもちろん、前面道路の搬入等に関わる面での安全管理、工程管理を重点的に行いました。前面道路に隣接する仮設駐車場を学校関係者と共有する計画としていたため、区画・周知を行うとともに、児童の通学時間帯を考慮して、通勤車両と搬入車両の通行制限や時間帯制限を行いました。

プール及び付属施設は出入口から見て屋内運動場の奥となる位置に建設する計画で、プールの構造はステンレス鋼板全溶接製プールを採用していました。そのため、鋼板等の大型の資材が搬入されることを考慮し、経路の確保のために屋内運動場の基礎工事を施工する前に先行してプール施設の施工を行う計画としました。

屋内運動場は性質上、大型の無柱空間となるため、鉄骨造で大型の架構が必要となります。前面道路幅員が狭小であることから、大型の車両・資材の搬入に制限があったため、大梁を2節に分割して搬入を行いました。また、大架構となる合掌梁は、施工性と安全性の向上を目的として、地組みを行ってから揚重して建方を行う計画としました。

工期内に無事故無災害で完成でき、ご理解ご協力いただきました市民の皆様、ご指導いただいた監督職員及び関係機関並びに関係部署の皆様、工事に携わっていただいた協力業者の皆様により感謝いたします。今後とも環境・安全に配慮し、より一層の品質・技術の向上に努め、地域社会に貢献できる企業を目指します。



2020.8.6 木



道路河川等管理情報システム伝達訓練

宇都宮建設業協会は8月6日、栃木県・宇都宮市も参加して道路河川等管理情報システム伝達訓練を行った。

道路河川等管理情報システムは、栃木県建設業協会が開発したもので、栃木県をはじめとする県内の各自治体も活用しており、システムからの情報は発注機関のパソコンとの共有が可能。パトロールを行った担当者が携帯電話で撮影した写真や動画を送信し、ファイルには撮影位置、日付、状況説明が添付されるため、情報を一元的に把握でき、同時多発的な状況の中でも適切な優先順位や応急対策を選定する際の大きな判断材料となる。このシステムを活用した情報伝達訓練は毎年行っている。

訓練は、システム操作や互いの連携を確認し迅速な応急復旧活動の体制構築や操作技術の習得のために実施し



訓練の重要性を説く菊池会長

ており、宇都宮建設業協会や栃木県建設業協会、栃木県からは柴誠県土整備部参事兼宇都宮土木事務所長、宇都宮市からは田崎修司建設部次長をはじめとする総勢44名が参加した。

訓練では台風が接近し、県全域に大雨・洪水警報が発令されていると想定。異常ありと異常なしのケースに分けて実施され、システ

ム画面により位置や現場の状況写真などが送信された内容を確認して、県や市の職員がシステムを使って指示を行った。その後、実態に即した訓練にするため、宇都宮土木事務所と宇都宮市役所では各所内に職員を待機させて遠隔での指示も行った。

訓練終了後の総評で柴所長は「訓練で見た課題を改善し、非常時に万全な体制で取り組めるように願う」、田崎次長は「初動の取り組みの大切さを改めて強く認識した。建設業協会や県、市と顔の見える横のつながりを構築できることは非常に素晴らしい」と述べた。



総評する柴所長

(亀和田)



いざという時に 「道路河川等管理情報システム」が役に立つ!!

栃木県建設業協会が開発した「道路河川等管理情報システム」は、災害発生時その情報をリアルタイムで県民に提供することが可能で、一方、栃木県県土整備部や土木事務所をはじめとする県内の各自治体は、災害状況を一元的に把握しその応急復旧の進捗状況を確認できるなど、災害発生時には大変有効なシステムである。

災害発生時はいち早く現地に駆け付けた栃木県建設業協会会員企業が携帯電話・スマートフォンで位置情報付きで状況を写真撮影しシステムに送信し、各自治体はその情報をもとに即時にかつ適切に遠隔での指示を行う。また、それらの災害情報はどなたでも栃木県建設業協会のホームページから閲覧可能となっている。

栃木県県土整備部 応急復旧状況をシステムで閲覧



矢板土木事務所におけるシステム使用状況



栃木県県土整備部 部長 熊倉 一臣

栃木県県土整備部では、各市町と連携しながら定期的に水防・防災訓練を実施しているほか、栃木県建設業協会の協力を得て「道路河川等管理情報システム」を使用した情報伝達訓練を適宜実施して、災害時等における連絡体制の確認を行っております。

令和元年10月の台風第19号に際しては、この「道路河川等管理情報システム」が活用され迅速かつ的確な水防活動や応急復旧に多大な成果をあげたところです。



会員企業が随時「災害情報」を入力

栃木県民 ホームページから災害情報を閲覧



災害情報は、どなたでもインターネットでご覧いただけます

栃木県建設業協会

検索



「環境美化で地域貢献」

2020.9.9 水

9月9日、会員企業と宇都宮土木事務所の職員約80人が参加し「川の日・田川クリーンアップ大作戦」を実施、宇都宮市中心部を流れる田川の清掃活動を行いました。クリーンアップ大作戦は7月7日の「川の日」に合わせて予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大と悪天候が影響し延期となっていました。

当日の朝、参加者が協会に集合。菊池三紀男会長の挨拶に続き、柴誠宇都宮土木事務所長は当協会に対して、川の日に通常よりも範囲を広げて美化活動を行っている

ことに感謝の意を表し「河川の大切さや建設業の社会への役割について、市民へ理解を深めていきたい」と述べられました。

鹿野雄久建設副委員長による詳細説明の後、参加者は用意されたバスに乗って担当する場所に移動、清掃作業を開始しました。今回清掃したのは河内庁舎周辺の大曾橋から建設産業会館西側の旭陵橋までの延長約6km区間の両岸。参加者は14班に分かれ、河川敷のごみ拾いや草刈機による除草、橋に絡まった蔦の除去を行いました。

今後も地域に根付いた活動として、きれいな河川環境の維持に貢献してまいります。(石黒)



令和2年度建設業災害防止 安全対策セミナー開催

2020.10.23 金

建設業労働災害防止協会栃木県支部宇都宮分会（菊池三紀男分会長）は10月23日、とちぎ福祉プラザに140人の出席者を集め、令和2年度建設業災害防止安全対策セミナーを開催しました。

冒頭、菊池分会長より「高い安全意識を持ち、一人一人が安全を再確認してほしい。また、無事故・無災害を目標に上げたい」と挨拶があり、続いて宇都宮労働基準監督署・高橋拓署長、宇都宮土木事務所・柴誠所長、宇都宮市建設部・高橋功部長、建災防栃木県支部・谷黒克守支部長の代理で増淵薫副支部長の来賓挨拶がありました。また、宇都宮建設業青年の会・入江誠会長が労働災害撲滅の決意表明をしました。



高橋拓署長

安全講話は、宇都宮労働

基準監督署・富永剛彦安全衛生課長から「労働災害発生状況と対策」、宇都宮中央警察署・青木智交通総務課長から「夜間、道路横断中の実例」の講話があり、日本健康



決意表明する青年の会・入江誠財団の講師によるリフレッシュ体操が行われ、充実した安全対策セミナーとなりました。(末長)



リフレッシュ体操

新 社 長 紹 介



王子工管関東株式会社
代表取締役社長 **竹田 幸喜**

このたび王子工管関東株式会社の社長として宇都宮にまいり、宇都宮建設業協会の一員とさせていただきます竹田と申します。当社の歴史は主に製紙工場の保守を役割として昭和39年に創立され、高崎産業株式会社を経て平成18年に現名称の王子工管関東株式会社に改称し、通年で56年の営業となります。王子ホール

ディングスの安定した基盤と長年の事業経験を活かして総合建設会社として成長し、技術力と機動力の会社として地域の皆様方と共生させていただいております。私自身の出身会社は王子製紙株式会社で北海道、九州、愛知、鳥取と全国の製紙工場に勤めてまいりましたが、宇都宮の印象は自然と街がほどよく調和して非常に暮らしやすく、トレッキングが趣味の私にとっては格好のロケーションであり、週末を満喫しています。直近ではコロナ禍の影響で業績を含め厳しい状況が続いていますが、先を見据えて我慢強くさらなる技術力の研鑽に励んでまいりますので、今後ともよろしく願いいたします。



株式会社 陸工業
代表取締役 **糸井 通裕**

令和2年4月より代表取締役に就任いたしました糸井通裕でございます。宇都宮建設業協会の皆様には日頃より大変お世話になっております。

私は東京都市大学（前・武蔵工業大学）建築学科を卒業後、栃木市で社寺・木造住宅を得意とする工務店で現場修行ののち、弊社に勤務、主に施工管理・積算業務を行ってまいりました。

弊社は1900年（明治33年）創業、今年度で120周年を迎えることができました。こうして長年にわたり存続

できたのも、宇都宮建設業協会の皆様、地域の皆様、弊社関係各社の皆様のご指導、ご愛顧があってこそであり、深く感謝申し上げます。

創業以来、社会情勢が大きく変わることが多々あったと思います。今年度は特に、新型コロナウイルスの影響で建設業界ならびに各業界においても、大変な時期を迎えている最中でございます。社会の変動に対して、柔軟に対応していく大きな変革期と捉えております。今後においても時代の流れに順応していきながら、社業の成長と発展、関係各位の皆様からの信頼の継続、発展を培っていきたくと、まさに感じております。

宇都宮建設業協会の皆様にご指導、ご鞭撻をいただきながら、地域社会のよりよい発展に引続き協力していきたい所存ですので、今後ともどうぞよろしく願い申し上げます。



株式会社 カクタ技建
代表取締役 **直井 清**

このたび、株式会社カクタ技建の代表取締役に就任した直井清です。

私は昭和44年の弊社の創業より在籍し、以来52年間社業の発展のために尽力してまいりました。創業より皆様方には長年にわたるご指導ご支援を賜り、心より

御礼を申し上げます。

齢72歳と高齢ではございますが、近年の未曾有の自然災害や新型コロナウイルスなどの難局に直面し、社業の継承のため決意を新たに大役に取り組んでまいりたいと考えております。浅学非才な私ですが、これまで培ってきました技術を継承し、仕事を通じて従業員の心を高め、社会の進歩発展に貢献できることの素晴らしさを伝えていきたいと考えております。

皆様におかれましては今後とも変わらぬご高配を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



青年の会 活動報告

● 献血活動

2020.6.30^火

6月30日に宇都宮建設業青年の会は、日本赤十字社に協力し宇都宮市の栃木県建設産業会館にて献血活動を実施しました。宇都宮建設業青年の会は、社会貢献



活動の一環として毎年献血活動に協力を行っています。今年度は新型コロナウイルスの影響下で血液が大変不足しているとの情報があり、例年よりも早い時期に実施しました。新型コロナウイルス感染防止への対応としまして、受付時の検温、献血車の換気と消毒の実施、ビニールでの飛沫防止等の対策を行いながら実施しました。青年の会会員が午前と午後に分けて献血の呼びかけや受付業務の支援を行い、会員企業の社員ら53人が献血を行いました。

(津野田)

● 宇都宮土木事務所と宇都宮建設業青年の会による意見交換会 2020.9.2^水

宇都宮土木事務所と宇都宮建設業青年の会は9月2日、県河内庁舎で若手監督員と若手現場代理人の意見交換会を開催した。青年の会の入江会長や宇都宮土木事務所の田邊次長兼企画調査部長ら約30人が出席し、参加者が2グループに分かれ、それぞれ輪になって協議した。お互いに業務上苦労していること、業務改善の提案について、魅力ある建設業の職場環境について意見を交換し、お互いにコミュニケーションをとって有意義な意見交換会とすることができた。



入江会長挨拶



田邊次長挨拶

当日の主なやりとり

- ・ 開通式などのイベントで、住民の方や子供たちからお礼を言ってもらえるとやりがいを感じる。発注者からも、よくできた工事には「良かったよ!」と一言言ってもらえるとうれしい。
- ・ 若手の監督員は現場経験が少ないため、受注者からも積極的に提案してもらえるとありがたい。

- ・ 4週8休に取り組むことで、現場では一日当たりの仕事量が増えて残業が増えてしまっているのではないかな。
- ・ お互いがコミュニケーションをしっかりとって、気軽になんでも相談できる関係を作ることが、問題解決の第一歩になると思う。
- ・ 苦労も多いが、一生形に残るものを造るという意味で、我々の仕事は他の業種にはない達成感ややりがいを感じることができる。

全体の感想

- ・ 立場は違っても、栃木県の良質なインフラを提供するという同じ目的に向けて仕事をしていると強く感じた。

(亀和田)



Aグループ



Bグループ

編集後記

本年5月15日に開催された通常総会において、役員改選が承認され菊池三紀男氏を会長とする新執行部が走り始めた。新型コロナウイルス感染拡大防止対策を念頭に置きながらの協会運営となり、大変なご苦労があることと思われるが、業界そして会員企業の発展のため力を存分に発揮していただけるものと期待している。

また、本広報誌の編集・発刊を担当する総務委員会もメンバーが一新された。これからの2年間、担当副会長である野澤充広氏のご指導を賜りながら、協会活動つまり会員各社の社会貢献や安全推進等の数多くの活動を市民の皆さんに知っていただけるよう努力していく所存ですのでよろしくお願いいたします。

(岩原)

